

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころねキッズ			
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～	令和 8年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	33
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 1日		～	令和 8年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 12日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供たちに寄り添った共感的な支援ができています。 また、保護者とコミュニケーションが図れておりお子様のことについてしっかり情報共有ができています。	子供たちの状態をしっかりと観察し、支援内容にフィードバックするようにしている。児童発達支援管理責任者へ支援内容を確認しスタッフ間でもチームとなり丁寧な支援を心がけている。	子供たちにとって最善とは何かを考えながら児童発達支援管理責任者の指導の下よりよい支援ができるようにスタッフ間で今まで以上に連携を図っていきたい。
2	子供たちが安心感を感じながら楽しく通所できている。	日々変化していく子供たちの状態をチームで支援することにより安定した支援ができるように申し送り等を密に行い毎日の職員の配置を工夫している。	今後も子供たちに必要な支援ができるように集団活動、個別の活動、イベント等を考えていく。
3	学校や相談支援専門員等関係機関との連携ができています。	子供や保護者などの細かな変化等を情報共有している。	今後はスムーズに連携や情報共有ができるようにツールを検討していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故対応、災害対応、安全管理体制等の緊急時の対応マニュアルは整っており定期的に訓練も行っている。保護者の方への情報が伝わりにくい状況となっている。	保護者の方へ必要な情報発信を行っていく必要がある。	個別で説明させていただくこととはほかに別の手段で情報発信をしていけるか検討する。
2	保護者等家族支援が少ない。	保護者参加型のイベントが少ない。 望まない保護者の一定数いる。	自由参加として保護者型イベントを検討していく。 保護者へヒアリングしていく。
3	学童や地域との交流が少ない。	学童との交流機会がなかった。他の事業所との交流イベントを行った。 交流を望まない保護者もいるため。	今後は保護者の意見を聞きながら交流会を企画していく。